



## 待望の!! ホカホカご飯にひんやりデザート 保温保冷配膳車を導入しました

昨年の10月6日の夕食から、「保温保冷配膳車」を使用して、お食事を提供しています。保温保冷配膳車は、「温蔵庫」と「冷蔵庫」を、兼ね備えた食事運搬車です。温かい料理は“ホカホカ あたたく”、冷たい料理は“ひんやり つめたく” 患者のみなさんのもとに、お届けできるようになりたいへん好評をいただいております。

今後とも、患者様の疾病治療、回復のための一助として、更に、入院生活の“潤い”となれるよう食事の充実に努めていきたいと思っております。



温かい料理

冷たい料理

◆歳時にあわせた行事食にも力を注いでおります◆

### お正月メニュー

- ご飯
- すまし汁
- おせち盛合せ
- 紅白なます
- おひたし
- くだもの



### 病気の理解を深める場として 糖尿病教室を開催しています



洪間副院長のお話もあります!

担当

医師・看護師臨床検査技師  
薬剤師・管理栄養士

◎詳しくは、医師、スタッフにおたずね下さい

## クリスマスコンサートが開催されました

新庄にも本格的に雪が降り積もり、辺り一面真っ白になった昨年12月17日クリスマスコンサートが開催されました。

今回は、透明感のある歌声で高い評価を受けている、新庄市出身のソプラニスト 田中麻理さんとヤマハ音楽教室システム講師としてご活躍している、ピアノ伴奏者 平桜いづみさん、そして沼田小学校の児童の皆さんを迎えて、「ふるさと」や「雪やこんこ」などの懐かしい歌から、「ジングルベル」や「きよしこの夜」などのおなじみのクリスマスソングを披露していただきました。

クリスマスコンサートは、入院生活の中で少しでも心とむ時間になればと思い、平成8年以降毎年開催しているものです。参加した患者のみなさんには、歌声に合わせて手拍子をしたり、口ずさんだりして楽しい時間を過ごしていただきました。



# ● 急患室を利用する皆様へのお願いです ●

新庄病院急患室では、手術や入院等の処置が必要な重症な症状の方を中心に、急な病気や負傷の方に対する救急医療を行なっています。

皆様には、下記の点をご理解の上、受診いただくようお願いいたします。



- 患者の方々の症状の緊急度を考慮して診察を行ないますので、受付の順番どおりにならない場合があります。また、重篤な方の対応のため、長時間お待ちいただく場合がございます。

なお、お待ちいただいている間に症状が悪化した場合等は、遠慮なく申出ください。

- 手術や入院等が必要な重症な症状の方以外は、あくまでも応急処置（翌診療日までのつなぎの処置）となり、該当する診療科の医師による診察とはなりません。改めて、診察日に各診療科の外来で診察を受けていただくようお願いいたします。
- 保険証を持参されていない方や県外の方は、受診後、**預り金（3,000円）**を預らせていただき、翌診療日以降の来院時に精算させていただきます。

急病時の内科・小児科の受診については「新庄市夜間休日診療所」や「小児救急電話相談」の利用もご検討下さい。

## 新庄市夜間休日診療所

夜間（受付：午後6時30分～9時）及び休日（同：午前8時30分～午後4時30分）は、新庄市夜間休日診療所（新庄市堀端町3-33（保健センター内）電話29-6300）でも、内科、小児科の診療を行なっています。（土曜日の日中は、管内開業医の多くが診察を行なっています。）

## 小児救急電話相談

# 8 0 0 0 0（プッシュ回線・携帯電話）

小児救急電話相談（毎日：午後7時～10時）もあります。プッシュ回線・携帯電話は#8000、ダイヤル回線・PHSは023-633-0299です。



# ● 休日出入口の変更のお知らせ ●



入院されている患者のみなさんや来院される方々の安全確保のため、出入口の管理を強化することになりました。

平成22年9月から休日（土曜日、日曜日、祝日、1/3、12/29、12/31）の出入口を、正面玄関のみにさせていただいています。第二駐車場をご利用の方には、ご不便をお掛けしますが、正面玄関にお回りくださるようお願いいたします。

なお、平日の日中（7:00～20:30）については、今までどおり、第二駐車場出入口をご利用いただけます。

出入口	開放時間
正面玄関	終日開放
第二駐車場出入口	平日（7:00～20:30）開放





今年は例年以上に、大雪にともなう転倒や事故が多発しています。担当診療科のドクターやスタッフが休む間もなく診療にあたっています。1月1日から31日までの間、雪に関する外傷で夜間や休日に急患室を受診した患者のみなさんを下の表にまとめました。除雪中の事故が最も多く、交通事故よりも重症例が多くみられました。除雪中に怪我をした女性（10例）の平均年齢は68歳（最年少48歳、最高齢85歳）であり、男性（25例）の平均年齢62歳に比べ高齢でした。屋根の雪下ろしの際には、命綱を装着するなど除雪に関する正しい知識を身につけ、除雪作業にあたりましょう。特に、高齢者の方の除雪作業は細心の注意を払って行いましょう。



	総数	平均年齢	重症例
交通事故	31例	43.0歳	骨折3例
除雪中の事故	35例	63.7歳	骨折7例 脳挫傷2例 気胸1例 心肺停止1例
屋外で転倒	29例	54.8歳	骨折5例 脳挫傷1例
遊戯中	14例	50.8歳	骨折2例
氷の落下による事故	3例	29.9歳	

## 当院でのがん治療

当院は、地域がん診療連携拠点病院に指定されており、各学会の定めるガイドラインにより、専門医が手術、化学療法、放射線療法、及び各種治療法を合わせた集学的治療を行っております。

### 【専門医】

専門医とは、5年以上の専門研修を受け、資格審査ならびに専門医試験に合格して、学会等によって認定された医師をいいます。



## 当院における5大がん手術件数

(H22年1月1日～12月31日)

(単位:件)

肺がん	開胸手術	6
	胸腔鏡下手術	11
胃がん	開腹手術	42
	腹腔鏡下手術	11
	内視鏡手術粘膜切除	3
大腸がん	内視鏡手術粘膜下層剥離術	53
	開腹手術	54
	腹腔鏡下手術	12
肝臓がん	内視鏡手術	61
	開腹手術	10
	マイクロ波凝固法	0
乳がん	ラジオ波焼灼療法	6
	手術	24
	乳房再建術	1
		294

## がん化学療法センター

外来通院が可能な患者のみなさんが対象となります。

従来の「がん」に対する化学療法の多くは、入院して行われていましたが、抗がん剤の副作用対策の進歩や投与方法が研究され、現在では入院せずに外来通院で行うことが可能になりました。

当院においても、「がん化学療法センター」を開設しております。これにより、日常生活は、普段どおり行うことができ、患者のみなさんの生活の質の向上につながっております。(内容によっては入院して治療を行う場合もあります。)



## 職員紹介 看護助手

今年度新たに33名の看護助手を採用しました。看護助手は水色の制服を着ており、シーツ交換をしたり、メッセージ業務をしたりと看護師の右腕として頑張っています。

医療安全の基本を身につけること、患者体験をすることにより患者の立場に立ったサービスを考えることを目的に日々このような研修を積んでいます。

- 看護部職員としての倫理観についての講義
- 医療安全についての講義
- 寝たきり患者の清拭
- 寝衣交換
- おむつ交換の介助
- 食事介助の仕方
- 車イスへの移乗
- 移動介助の注意点

研修の成果を活かし、看護チームの一員として安全安心な技術、知識を身につけ、患者の皆さんに信頼されるようところがけています。



# 感染性胃腸炎から自分を守る

ノロウイルスってご存知ですか？ 冬場におきる胃腸炎の約半数はノロウイルスがおこす伝染病（感染症）と言われていています。日本では2006年以降、ほぼ毎年冬に流行しており、小学校などでの集団感染が時々新聞に掲載されていますよね。このウイルスは感染力が強く、アルコール消毒すら確実な感染予防法とはいえません。ウイルスは胃腸炎が治った後も持続的に便から排泄されるため、他者への感染の原因となります。ノロウイルスによる感染性胃腸炎から自分や家族、職場を守るための予防法を知って下さい。

**症状** 昔の人はこの病気を「お腹の風邪」と表現していたようですね。感染してから発病するまで約2日間の潜伏期間があり、その後、嘔吐・下痢・発熱で発病します。夜に床につくと突然腹の底からこみ上げてくるような感觸と吐き気を催し、我慢出来ずに吐いてしまうことが多いです。何度も激しい吐き気が起こり、吐くためにトイレのそばを離れられないほどです。吐き気が治まった後は激しい悪寒が続き、38℃程度の発熱を伴うこともあります。これらの症状は通常2日で治りますが、免疫力の低下した老人や小児では長引くことがあり、死亡例（吐物による窒息や肺炎、脱水症）も報告されています。また、胃腸炎が治った後も4週間はウイルスが便中に含まれている事があります。

**感染経路** ノロウイルスは十二指腸～小腸で増殖し伝染性の消化器感染症を起こします。ごくわずかな嘔吐物や衣類・手指に付着した便の（乾いた）粉末等が飛び散って、他者の口から伝染します（空気感染）。一度感染したからといって長期的な免疫はつかないので、何度でもかかります。ウイルスを吸いこんでも自分は発病せず（無症候性キャリア）、他者の感染源となってしまう場合もあります。ノロウイルスは完全な下水処理が出来ていないため、水道水や井戸水などがウイルスで汚染され、その水を飲み感染する場合があります（水系感染）。

**治療** 有効な抗ウイルス薬はありません。下痢がひどい時は、電解質を含み甘味の強くない市販の飲料水や生理食塩水を人肌に温めて飲むことが推奨されます。入院した場合は、点滴などを対症療法的に用います。いわゆる“下痢止め”はウイルスを体内にとどめることになるので用いるべきでないという専門家もいます。

**予防** 有効なワクチンは開発されていません。ノロウイルスは石鹼や 消毒用エタノールには抵抗性が強いですが、手洗いによって物理的に洗い流すことが可能です。調理する時は、調理器具をよく洗浄し塩素系漂白剤で消毒することが大切です。またノロウイルスは85℃以上1分間以上の加熱によって感染性を失うため、特にカキなどの“生もの”は中心部まで充分加熱することが重要です。胃腸炎にかかった家族の便や吐物を処理する場合は手袋・マスクを使用し直接手で触れないよう注意し、作業後は手をよく洗います。汚物は飛び散らないよう袋に密閉し処分します。感染者がいる場合は、トイレ・ドアノブ・蛇口・手すりなどは汚染のリスクが高いため、よく汚れを落とした後に水洗し消毒します。胃腸炎が治った後も4週間はこれらの処置を続けて下さい。



## 正しい手洗い法

最後に、読者の皆さんに“正しい手洗い方法”を伝授致します。

 <p>STEP 1</p> <p>両手のひらをよくこすります。</p>	 <p>STEP 2</p> <p>手の甲をこすります。</p>	 <p>STEP 3</p> <p>指の間もよく洗います。</p>	 <p>STEP 4</p> <p>指先は特に念入に洗います。</p>
 <p>STEP 8</p> <p>ペーパータオルで充分に乾燥させます。</p>	 <p>STEP 7</p> <p>石けんが充分落ちるまで、こすりあわせていたのと同じ時間をかけて濯ぎます。</p>	 <p>STEP 6</p> <p>手首も忘れずに洗います。</p>	 <p>STEP 5</p> <p>親指をにぎり洗いします。</p>

正しい知識を身につけ、自分や家族を感染性胃腸炎から守って下さいね。